

令和4年度 体力等調査の結果について

令和4年度に実施された体力等調査の結果について、杉並区立小・中学校の結果を報告する。

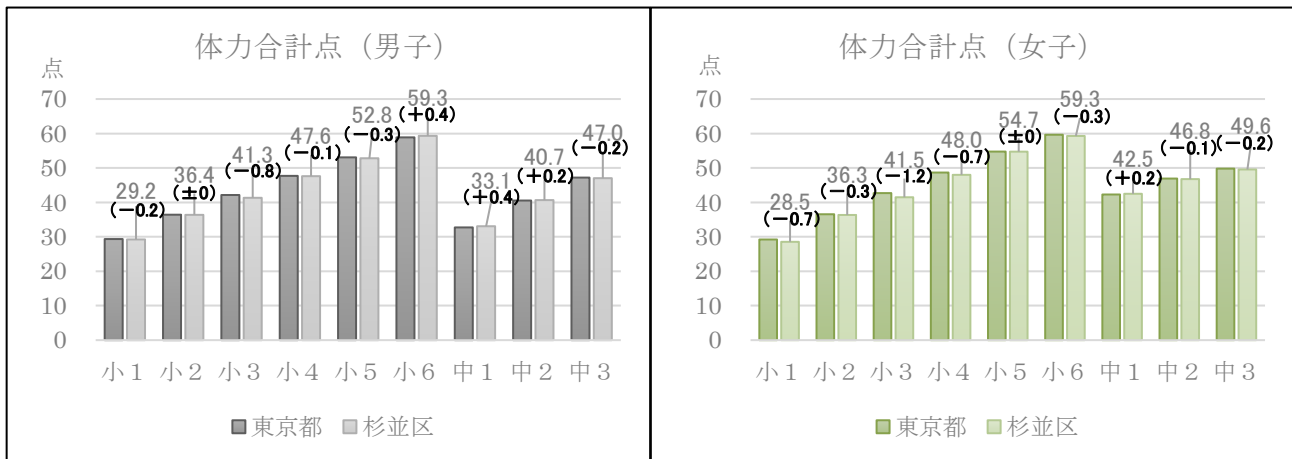
1 体力等調査の概要

実施	東京都教育委員会
名称	令和4年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査
目的	東京都の児童・生徒の体力・運動能力及び生活運動習慣等の実態を把握・分析することにより、その改善を図るとともに、これらの取組を通じて、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
対象（方式）	都内公立学校の全児童・生徒（悉皆）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 体力・運動能力に関する調査 ⇒握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルランまたは持久走、50m走、立ち幅とび、ハンド（ソフト）ボール投げ 生活・運動習慣等に関する質問紙調査
調査時期	令和4年6月

2 調査結果の概要

(1) 令和4年度の「体力合計点」※（ ）は、東京都体力合計点との差を表している。

杉並区立学校の小・中学生の体力合計点平均値と東京都の平均値を比較すると、男子は小学校第6学年、中学校第1・2学年において、女子は中学校第1学年において、東京都の平均値を上回った。一方、男子は小学校第3学年、女子は小学校第1・3・4学年において、東京都の平均値を0.5点以上下回った。



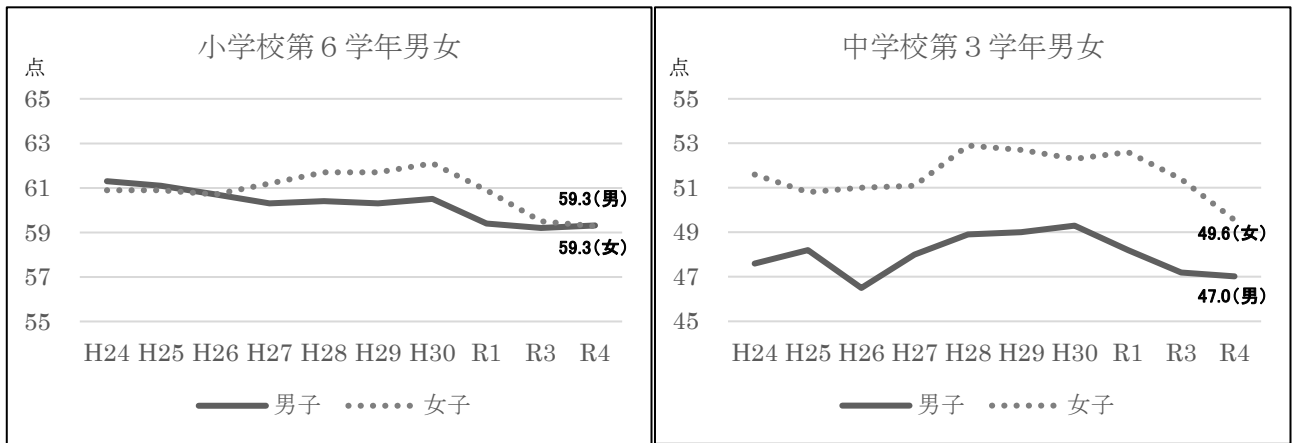
【体力合計点】

体力合計点とは、上記調査項目の記録を得点換算し、全ての得点を合計したものである。

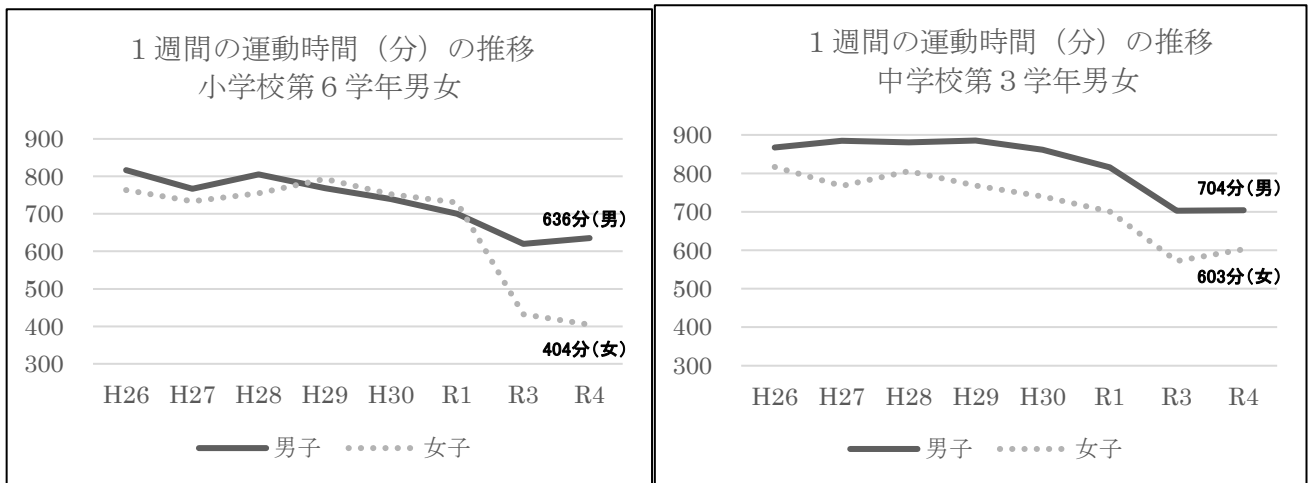
※小学校と中学校では得点換算方法が変わるため、小学校と比較すると中学校の数値が下がる。

(2) 「体力合計点」の推移（平成24年度から令和4年度）※ 令和2年度は、感染症の影響により希望制で実施した。

令和元年度と令和4年度を比較すると、小学校第6学年男子はほぼ同値であった。一方、小学校第6学年女子、中学校第3学年男女は低下した。特に、中学校第3学年女子は令和3年度と比較して1.8点低下した。



(3) 「1週間の運動時間(平均)」の推移(平成26年度から令和4年度)
 (学校の体育・保健体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツを行う時間)
 令和元年度と令和3年度を比較すると、両学年・男女ともに減少した。令和3年度と令和4年度を比較した場合は、ほぼ同値であった。



3 課題及び今後の取組

(1) 課題

- ・小学校第3学年の体力合計点は男女とも東京都より0.5点以上下回り、各種目で比較しても男子は「50m走」「ソフトボール投げ」、女子は「50m走」以外の多くの種目で下回った。コロナ禍の影響等、要因を分析した上で、改善していくことが必要である。
- ・運動やスポーツを行う時間の減少は全体として下げ止まりが見られたが、小学校第6学年女子については、減少傾向が続いており、改善に向けた取組が必要である。

(2) 今後の取組

- ・教育委員会においては、子どもたちが自ら心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するために、様々な専門職や関係機関と連携し、運動の楽しさや技術などを学ぶ*体力づくり教室の実施を継続する。加えて、体育指導に課題意識がある学校を中心に、訪問型の研修を実施し、児童・生徒が運動の楽しさを味わうことを視点とした体育授業の改善を支援する。

*体力づくり教室：運動の楽しさや技術を専門家から学ぶ小学生を対象とした事業。

- ・体力向上を研究課題として、新たに教育課題指定研究校を5校程度指定する。指定された学校においては、運動やスポーツを行う時間の減少等の課題解決に向けて研究を進め、取組過程や成果を区立学校・子供園に広める。